

日曜地学ハイキング 山地と平野にまたがる飯能①

ー山地と平野の境界をみるー



【日 時】

平成 30 年 4 月 15 日(日)午前 9 時 30 分～午後 3 時

【コース】

飯能駅→飯能市立博物館(展示解説・見学)→昼食→飯能大橋(矢嵐テフラなど)
→飯能河原(川原の石しらべ)

【ガイド】

地学団体研究会埼玉支部

【参加者数】

43 名

【内 容】



まず、午前中に、当館の「身近な自然」コーナーにて地質の展示を説明していただいたのち、飯能層、矢嵐テフラ層、飯能河原のれきなど飯能市の地質の特徴について講義を受け、今回観察する場所についての理解を深めました。



午後は実際に地層や岩石の観察をしい出掛けました。飯能大橋の下の川原には、上空から見える白い矢風テフラ層が岩畳状に広がっています。



飯能河原ではひとつひとつの岩石の違いについて、割れ方や柔らかさ、酸性の液体への溶け方など特徴を丁寧に教えてもらいました。子どもたちも興味津々な顔で質問をしていました。

地層や岩石から、大地の成り立ちや広がり想像することができました。

ガイドを務めてくださった地学団体研究会埼玉支部の方々、参加していただいたみなさま、どうもありがとうございました！